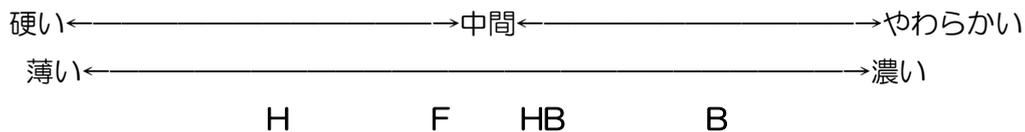


鉛筆について知ろう

名前

【鉛筆の種類】

- 芯が硬くて薄く書くことができる→H ※HARD(硬い)の略
- 芯がやわらかくて濃く書くことができる→B ※BLACK(黒い)の略
- この2つの中間にあるもの→F、HB



【鉛筆の線の違い】

濃さ、硬さの違う鉛筆を使いこなしたり、持ち方、力の入れ具合を変えることによって、さまざまな表現ができる。表現したい内容に合わせて、工夫して使ってみよう。

• ねかせたとき



• 立てたとき



【グラデーション】

色を、濃さや淡さに合わせてだんだんと変化させること。特に鉛筆では、鉛筆の濃さや線の重ね方などを利用して、明暗の段階を作ることができる。

<実践!!>

下の(例)を参考にしながら、(1)に鉛筆でグラデーションを作ってみよう。(2)はやらなくてよし

	真っ黒	暗い	やや暗い	普通	やや薄い	薄い	白
(例)							
(1)							
(2)							

色について学ぼう

名前

Q1.色には様々な効果がある。それらについて知っておけば、何色を使うか迷ったときに役立つうえ、効果的な使い方で絵をより良いものにできる。次の()に当てはまる言葉を、資料プリントのP4を参考にして埋めなさい。

【色の種類】

色は大きく分けて2つの種類がある。

- (①))…白・黒・灰色のように、色みがなく、明るさだけで示される。
- (②))…少しでも色み、色合いが感じられる色で、(①)以外のすべての色のこと。

【色の三属性(三要素)】

色には3つの要素がある。

- (③))…赤・黄・緑・青など、(②)の色みの違いを示す。
- (④))…明るさの度合いを示す。最も明度の高い色は白、最も低い色は黒である。
- (⑤))…色のあざやかさの度合いを示す。(①)はこれを持たない。

【色相環】

(②)を(③)の似ている順に赤→橙→黄→黄緑→緑→青緑→青→青紫…と並べてできる輪を、**色相環(しきそうかん)**という。また並べたときに、反対側に位置する色同士のことを、(⑥)の関係という。

Q2.下の図は12色を並べた色相環である。資料のP3を参考に、()に当てはまる色の名前を書きなさい。

